

# Soya Labo10 ミーティング 概要 (稚内開発建設部)

共に北海道の未来を創る  
第9期北海道総合開発計画

## 開催概要

- ◎日時：令和7年1月30日(木) 13:00~15:30
- ◎会場：えびなイベントホール (稚内市中央3丁目13番23号)
- ◎参加：21名
- ◎プログラム
  - 01 開会挨拶 稚内開発建設部次長 松本 一紀
  - 02 参加者紹介
  - 03 趣旨説明 稚内開発建設部地域連携課 課長 吉田 賢正
  - 04 意見交換 若者を呼び戻すための魅力ある宗谷の地域づくり  
管内の高校生に聞いてみたいことは？  
地域のために、今後取り組んでみたいこと

<参加者> 司会 FMわっぴー取締役局長 杉谷 賢俊

尾崎篤志 (NPO法人街にいき隊PRO) / 富田伸司 (稚内市歴史・まち研究会会長)  
福間加奈 (相沢食料百貨店副社長) / 杉山愛美 (杉山牧場・WEB参加) / 田中あも  
(あぐりネット宗谷 工房レティエ) / 鈴川未来 (礼文町移住定住・人材交流拠点施設「袋澗」管理人) / 坂本太一 (momo'tock) ※敬称略

Soya Labo10 ミーティング…… H29(第8期計画策定後)からの取り組みであるパートナーシップ会議について、第9期計画がスタートしたことに伴い、発展的に見直したもの



松本 一紀次長



FM わっぴー 杉谷 賢俊氏

## 主なご意見

### <若者を呼び戻すための魅力ある宗谷の地域づくり>

- 帰ってくる可能性のある子供たちのために帰ってくる(仕事)の条件を整える仕組みをつくる。行政・民間・市民が協力して、新しい働き方の環境をつくる。【尾崎】
- 稚内の歴史的建造物を通して、高校生など若い世代に自分が住んでいる地域の歴史を知ってもらおう。【富田】
- 地域の課題である食の貧困化を防ぐための食育活動、教育の必要性。【福間】
- 豊富町の基幹産業である酪農業を残していきたい。自己実現できる町として、新規就農者だけでなく、Uターン希望者にも予算を割いてほしい。【田中】
- 地域の特色のある漁業や酪農など、地域を深く知ってもらう取り組み。【鈴川】
- 宗谷管内広域で、地域にはない仕事を手掛け、地域にない「仕事」をつくり、新しい移住の入り口をつくる。【坂本】
- Uターンで酪農家になる人を増やす。そのためには地域の人々が楽しく、生き生きと暮らせる地域にしていくことが大事。Uターンをしたくなるには小さい頃から地域の魅力に触れておくことも大事。【杉山】

### <オブザーバー 稚内市教育委員会 齊藤穰一氏>

キーワードは「地元の人々が楽しく暮らすこと」。旧瀬戸邸や赤れんが通信所、冬の体験イベントなど、宗谷地域には潜在的な素晴らしいフィールドがあるが、地元の人々は意外に気付いていない。そうした魅力がUターンやIターンにつながると思う。



尾崎 篤志氏



富田 伸司氏



福間 加奈氏



田中 あも氏



鈴川 未来氏



坂本 太一氏



杉山 愛美氏(WEB)

### <管内の高校生に聞いてみたいことは？>

- 稚内に帰ってきたいという子供たちは具体的に何がしたいのか。未来の稚内はどうなっていくと思うか。【尾崎】
- 自分が住んでいる地域はいつから、なぜ人が住み始めたと思うか。自分が住んでいる地域の推しだと思えるものは？【富田】
- 今の自分は何点だと思うか。そして、自分軸で生きている若者は自己肯定感をどういうふうに感じているのか。今の食生活に問題意識を持っているか。【福間】
- 具体的に何があれば、町の産業を継ぎたいと思うのか。また、どういことが仕事のやりがいだと思っているか。自分の理想のために努力していることはあるか。【田中】
- 高校生が将来住みたい地域とその理由について。【鈴川】
- 高校生は住んだことのない都会の何に憧れているのか、何を求めているのか。将来、どんな職業に就きたいと思っているのか。【坂本】
- 将来、どんな職業に就きたいと思っているのか。それは宗谷でもできそうな仕事なのか。自分だけが知っている、すごく小さいマニアックな宗谷の魅力は？【杉山】

<オブザーバー 育英館大学 佐賀孝博氏>

高校生は自分の父親、母親世代や先生など周りにいる大人たちが宗谷での暮らしを楽しんでいるか。誇りを持って働いていると思うかを聞いてみたい。大人が元気だったら、地元で仕事をやっていこうと思ってくれるのではないかな。

### <地域のために、今後取り組んでみたいこと>

- アンケートで「地元に戻ってきたい」と答えた75%の子供たちを念頭に置いた仕事づくり、仕事場づくり【尾崎】
- 自分が住んでいる地域の歴史を知ってもらう活動。稚内からカーリングのオリンピックを輩出する。【富田】
- 働きたいと思ってもらえる会社を目指す。スーパーを町のコミュニティ形成の場所に作る。【福間】
- Uターンや移住した人の自己実現をバックアップするコミュニティづくり。SNSなどを活用して都会にはない田舎の魅力を若者に発信する。【田中】
- 体験を通して地元の仕事の実態を知ってもらい、人手不足の実情を発信する。【鈴川】
- 40代以下ぐらいの若者同士がゆるくつながる居場所づくりを通して、地域の本質的な楽しさに接する機会をつくる。地域の高校生に宗谷地域のさまざまな職業を伝える。【坂本】
- 常温で持ち運べる浜頓別ならではの特産品の開発。宗谷地域の生産者とのコラボ商品の開発。中高生が友達と長時間過ごせる場所をつくる。【杉山】

<オブザーバー 宗谷総合振興局 笠行崇志氏>

今の若者は仕事に対する価値観をどのように考えているのか。さまざまな業種が人手不足の中、仕事の魅力を知ってもらい、いろんな仕事を選択できるような取り組みを行政としても取り組んでいきたい。